

本年4月、京丹後市は、合併新市誕生20年を迎えます。
京丹後をさらにひとつに！

中山市長は コツコツと
全力で頑張っています！

職員のみならず
力を合わせて

＜ 今期 中山市政の4年間のあゆみ ＞

(前ページの続き)

- 妊産婦の伴走型相談支援、出産・子育て応援給付金の実施、妊産婦・乳幼児健診の充実
- 産後ケアの無償化
- 発達相談支援室の新設、ヤングケアラーコーディネーターの新設
- ブックスタート事業
- いじめのLINE相談窓口の設置

＜福祉と百才活力社会づくり、男女共同参画、多文化共生＞

- 「地域共生ステーション」を市内4か所に設置・拡充
- 障害者福祉の推進、工賃向上支援、「クリエイティブショップくりくり」の運営支援拡充
- 移動困難な児童生徒の通学支援
- 難聴高齢者の補聴器購入支援の実施
- 「働くシニア応援プロジェクト」の実施・推進
- 「百寿人生のレシピ」の観光
- 高齢者のフレイル予防(歯科検診実施を含む)、外出支援事業の推進
- 「食と健康」をテーマに「百才活力学園」を創設
- 介護人材育成事業をスタート
- 寄り添い支援総合サポートセンターによる相談支援の推進
- 男女共同参画社会の推進
- 男性の育児休暇の促進
- 国際交流・多文化共生社会の推進

＜医療、救急＞

- 医療従事者の確保、体制充実への支援
- 「救急安心センター(＃7119)」の開設、「live119システム」(スマホ映像可)の導入
- 久美浜病院の整備構想の策定

＜地域コミュニティ、地域づくり＞

- 「地域協働型小規模公共事業」の大幅拡充(年間5500万円規模⇒1億4500万円規模へ)
- 新たな地域コミュニティづくりの本格的な推進(市内全体を概ね36地域を想定)
- 地域づくり支援員を各市民局に一人配置を実施
- 地域公共交通活性化協議会の設置、推進
- 地域のタイムライン(防災・減災)の作成推進、避難所のWi-Fi環境を整備
- 久美浜町域の防災行政無線の更新
- 「網野交流センター・交流広場」(仮称)整備基本計画、「宇川アクティブライプハウス」改築基本計画の各策定



＜つなぐ＞一まちの「宝」をみらいにつなぐー

＜豊かな活力を未来につなぐ＞

- 山陰近畿自動車道の早期全線整備の推進、休憩施設整備の検討
- 国の「SDGs未来都市」に選定(2021年)、SDGs特設サイト開設、チャレンジ支援等の推進
- 大阪・関西万博との連携推進
- ウェルビーイング・サミット、経営セミナーを開催
- 京丹後市デジタル戦略推進事業のスタート、最高デジタル責任者(CDO)の任用
- オンライン申請システム、証明書コンビニ交付はじめ市役所業務・サービスの各種デジタル化推進、若手職員政策提言プロジェクトを実施・推進
- 都市拠点整備構想の策定、網野町域、宇川地域も(重掲)
- 峰山庁舎増築棟など庁舎等整備の推進
- 新最終処分場の整備検討の推進



京丹後市広報資料より

＜自然環境、地球環境を次世代につなぐ＞

- 「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言(2020年)
- 海岸漂着物対策を推進
- 風力発電事業計画構想への対応(美しいふるさとづくり審議会での精力的な審議)
- 脱炭素ロードマップの作成、再生可能エネルギー導入へのゾーニング、脱炭素等促進支援の推進



＜歴史・文化を未来につなぐ＞

- 「歴史文化都市宣言」を府下で初めて実施(2023年)
- 網野桃子山古墳の整備事業の推進
- 「文化財保存活用地域計画」、「文化芸術振興計画」の各策定
- 「京丹後市歴史文化物語」を作成
- 「丹後震災記念館」所蔵絵画の修復
- 「松本重太郎ギャラリー」の開設、運営
- 野村克也メモリアルプロジェクトの実施・推進
- 街角ピアノなど「おとまち響プロジェクト」の実施



喜びと感謝あふれる未来をひらく

わいY
MAIL

中山やすし後援会
会報 2024

中山やすしは
誠心誠意
挑戦を続けています！

3年以上もの長き間、コロナ対策への多大な
ご負担、ご協力をくださり、市民のみなさまには
心より本当にありがとうございます！

私たちの前にはまだまだ課題が山積していますが、
同時に、京丹後には、私たちの大切な先人が伝え
継いでくださった、多彩な産業、豊かな自然環境、
そして誇らしい人材や古代からの歴史文化など、
これからの時代が求める、考えつくせないほどの
可能性にあふれています。

初心を肝に 忘れず大切に
360°取り巻くすべてを「糧」と「宝」にして
互いにささえあい、たすけあい、あたえあう
市民みんなが喜びと感謝にあふれる未来づくりへ
みんなの笑顔がますますいっぱい輝くまちへ
市民みんなと一緒に力を合わせて育みつづけます。

誰ひとり置き去りにされない、ささえあい、たすけあい、あたえあう

中山やすし 後援会 入会申込書

ご紹介者	
(ふりがな)	お電話
お名前	—
ご入会される方	
(ふりがな)	お電話
お名前	—
ご住所 〒	
京丹後市	
(ふりがな)	お電話
お名前	—
ご住所 〒	
京丹後市	
(ふりがな)	お電話
お名前	—
ご住所 〒	
京丹後市	

※ご入会される方の個人情報厳重に管理し、この会の目的以外には使用いたしません。

お手数ですが、この用紙をFAXもしくはメール(写真化の上添付など)
(または郵送可)で事務所までお送りくださいますようお願い申し上げます。
(事務所) 〒627-0032 京丹後市峰山町浪花8
FAX : 0772-66-3687 E-Mail : info@yy-mail.net

なかやま

中山やすし (本名 中山 泰) プロフィール

● 昭和35年1月16日生まれ 64歳 ● 現住所：京丹後市峰山町杉谷 702-5

昭和50年3月 峰山中学校卒業
昭和53年3月 天理高等学校卒業
中学(一時期除く)・高校・大学通じ野球に打ち込む
昭和60年3月 京都大学経済学部卒業
昭和60年4月 総理府・総務庁に入る(統合再編発足・第1期生)
平成 8年8月 沖縄開発庁沖縄総合事務局総務部人事課長
平成10年7月 国務大臣・沖縄開発庁長官秘書官
(～12年7月)(井上吉夫、野中広務、青木幹雄 各長官)
平成13年1月 経済産業省製造産業局デザイン政策チーム長(兼 略)
平成14年8月 内閣府総合規制改革会議事務局次長

平成16年5月 京丹後市長(～28年5月)

平成28年7月 (一社)地方創生戦略機構代表理事(～令和2年1月)

(主な職歴)
京都府市長会顧問(R2.10～)
地方から国の財政を考える首長の会 会長(R5.6～)

(前市政時代の主な職歴)
全国青年市長会 会長(H22.8～23.8)
京都府市長会 会長(H27.10～28.5)
京都府地方税機構 広域連合長(H25.1～28.5)
京都府自治体病院等開設者協議会 会長
丹後・地域高規格道路推進協議会 会長
ほか

・血液型：A型
・趣味：ウォーキング
・好きな食べ物：カレーライス、だし巻
(家 族)
妻と息子1人

スタッフ編集後記

感染症との闘いようやく一区切りと思っていた矢先に、今度は大きな自然災害に向き合わされています。能登及び北陸の皆さんへの心からのお見舞いとご支援させていただくことをしっかり胸に刻みたいと思います。感染症も自然災害も人類の永遠の課題であります。そして今を取り巻く諸課題が山積しています。だからこそ「誰ひとり置き去りにされない、ささえあい、たすけあい、あたえあう」を全面に市政へ取り組んでいる中山泰市長さんのことを、できるだけ多くの市民の皆さんに知っていただきたく、これを編集しました。読んで下さい！

サイトをリニューアル
しましたのでこちらも見て下さい！

中山やすし オフィシャル 検索

発行：中山やすし後援会
Facebook「中山やすし後援会」
「中山泰」ともよかったですら
友達申請をどんどん期待しております。
E-Mail : info@yy-mail.net
発行責任者：井上五郎
編集協力：いのち輝く和が
ひろがるふるさとの会

後援会入会を募集 &
可能でしたらお手伝いを
お願いします

中山やすしの活動を手伝ってやろう
という方があれば、ぜひご連絡ください
。老若男女となたでも、初心者の方も
歓迎です。皆さんおひとりおひとりのご
参加を心よりお待ちしております。

「かせぐ地方創生」をさらに大きく、
さらに豊かに、突き進みます！

1 地域経済の強靱化をさらに、徹底して推進します！

未来に夢を持てる、未来世代に希望をつなぐ地域経済を全力で
支援します！

(1) 地域産業の直面する課題解決を徹底的に支援します

- 物価高騰支援、後継者対策、事業承継など経営基盤の強化支援、各種企業誘致の推進、産業連関表の作成
- 機械設備導入への補助充実、販路開拓の支援拡充
- ウェルビーイング経営・働く人の職場環境改善への各種施策の推進、人材流通機構(仮称)の設置検討
- 若手人材確保のための雇用・生活支援策の総合パッケージ化と周知徹底、保護者企業見学会等の実施支援

(2) 各産業の未来への豊かな成長を全力で後押しします

- AI・ICT、デジタル化、ドローン等先端技術などの取り込み、新事業・分野へのチャレンジ、ベンチャー・スタートアップ企業の支援
- 新シルク産業(京丹後産絹糸、医療・健康素材への展開等)の育成
- タンゴオープンヴィレッジ(次代の織物振興)づくりをしっかりと支援
- 生活者、観光客の増加に対応する「ライドシェア」(旅客業界、NPOとのウインウインが前提)、「モビ」(Maas)の拡充検討・推進、鉄道車両に「デュアルモード車両」(鉄道×道路)導入の検討

(3) 「かせぐ農林水産業」を着実に実現します

- ブランド化、農商工連携、販路開拓・EC市場活用、海業、森林循環経済

(4) 関西・大阪万博との積極的な連携を進める。通年型観光を全力推進します

- 大阪観光局とヘルスツーリズム、インバウンド、通年観光の本格推進
- 京都府立医大等と「世界長寿サミット」の開催
- 世界にひらく「地域まるごとオープンファクトリー」の実現



ビーチ航空、ウィラー両社との連携(令和4年8月)

市民の皆さん、
ご存じですか？

＜京丹後市は、財政の充実を図りながら、その体質強化に大きく頑張っています！＞
—今後の財政拡充局面でもその安定化を図り、一段上の「財政力パワーアップ」を目指します—

○350億円以上規模ともなる一般会計(特別会計等合わせ7百億円以上)をもつ本市財政の経済規模自体、本市経済の成長発展を支える一定の駆動力となっています。その上で、本市財政(一般会計)は、合併以

来20年間で、①歳入規模:約312億円(平成16年)⇒約381億円(令和4年)、②貯金(積立金):約31億円(平成16年)⇒約100億円(令和4年)、③借金(地方債残高):約467億円(平成16年)⇒約354億円(令和4年)と、合併以来20年間で、財政規模の拡充を実現しながら、大幅な貯金増・借金減など財政の体質改善に大きく頑張っています。

(参考)本市は、上記のように①約69億円増、②約69億円増、③約113億円減を達成。

(なお、参考までに、府下13市平均は ①約72億円増、②約12億円増、③約5億円増、(京都市を除く。)

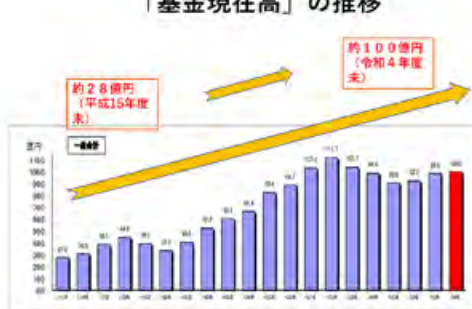
亀岡市以北6市平均は①約38億円増、②約13億円増、③約46億円減、となっています。)

(各市平均はいずれも京丹後市を除く。平成16年(うち3市は17年又は18年)の)と令和4年時を比較。「京都府市町村のあらまし」の各年度版より計算) (次ページ下に続く⇒)

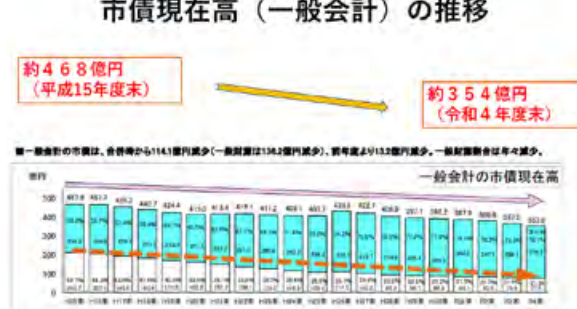
京丹後市一般会計予算規模



「基金現在高」の推移



市債現在高(一般会計)の推移



京丹後市広報資料より作成

2 「ふるさと納税3倍プロジェクト」を発展的に スタートします！これにより「地域経済循環の拡大と 大交流のまちづくり」を力強く推進します！

(ホップ30億円 ステップ50億円 ジャンプ未来へ！)

「ふるさと納税10倍プロジェクト」では、年間17億円、7万件(寄附
件数)水準まで達成<4年間で約6倍、件数約13倍>

⇒ この成果を基礎にさらにプロジェクトを発展させ、
現在の3倍規模を目指し「いよいよ30億円 続くぞ50億円
つなぐぞ未来世代へ！」を全力で進めます！

- クラウドファンディング(ふるさと納税3.0)で新商品づくり・企業誘致等推進
- 金融機関、商工会等業界団体との連携、企業版ふるさと納税の積極的な推進
- 地域コミュニティの地域づくりへの活用の展開推進(地域版ふるさと納税)
- 新たに「ふるさと市民制度」(仮称。名称公募)の設置検討

ふるさと納税活用型
公民連携による
殖産興業への挑戦

全国のふるさと納税を先頭でリードする
泉佐野市長、都城市長から激励



(令和2年5月)



(令和2年1月)

Q どうして「ふるさと納税」にそんなに 力を入れるのですか？

A 他に大切なやることが山積しているからこそ、ふるさと納税に真剣に頑張っています！というのも、当市の財政構造は脆弱で、近年は概ね350億円～400億円前後の一般会計予算規模ですが、このうち税収は約50数億円の現況で、地方交付税、国府等の補助金などに大きく依存しています。なので、①今後、廃棄物最終処分場、都市拠点・地域拠点等の整備など未来世代へのインフラづくりのための本格的な自主財源確保がどうしても必要、また②返礼品市場の発展を通じ、地域産業支援、新商品市場開拓への多大な貢献、および③資金流入で地域循環経済の規模拡大につながり、④これらによる産業発展で将来の税収増加や、何より⑤寄附者の広がりにより関係人口・交流人口の拡充で将来の観光・交流、経済取引、移住の増加への貢献など、ふるさと納税は、人口減少の抑制にもつながる「ヒト・モノ・サービスの大交流」をいろんな面で力強くリードしてくれています！

(以下、前ページより)

○そして、今後ますます、財政力のパワーアップを一段上に／上げます！

これは今後、庁舎増築棟整備(令和6年度)、7年度以降も順次、新廃棄物処分場、子育て・図書館等都市拠点施設整備など、未来世代への大切なインフラづくりが欠かせず、適切なコンパクト化に努めつつも、相応の財政の規模拡大を伴う面は否めません。ただ、本市として、財政の経済駆動力の強化に資する側面にも留意して、財政規律を維持しながらその活用を図り、構造的な財政力のさらに一段上のパワーアップ(一般会計400億円台前後で適切な財政規律を損なわずに安定化)を目指します。

このため、ふるさと納税の更なる充実強化、国等からの財源の制度充実への要請力の強化(全国連携化)、都市インフラ等整備助成等の各種助成制度の積極利活用など、全力で推進します。

京丹後市財政
強化戦略(仮称)を
策定へ！

「ひとづくり」を大きな市政の柱にすえて 未来に前進します！

1 子どもをまん中にする「教育」を市政のまん中に！ 未来のニーズを取り込み、どこにもまけない 魅力のある教育立市をつくります！

- (1)本市教育委員会が地域関係者、全国有識者と精魂込めて本年1月につくり上げた、子どもたちが中心の「**学びの変革プロジェクト**」を全力でバックアップします！
- ⇒ ①丹後学をベースとしたSTEAM教育の推進（**世界的最先端の知見と連携**）、②プログラミング教育などで信頼ある有識者による**先端的なリモート教育（遠隔地特例）**の推進、③地域・企業をプラットフォームにした**中高連携の検討**、④**教員の働き方改革**の推進など
- (2)市内高校の**地域拠点（ルーツ）の拡充**を検討します！（丹後緑風高、清新高）
- (3)「**夢まちづくり大学**」のリモートを活用した拡充・発展を図ります！（リアル×リモートで）多くの大学生でにぎわうまちづくりを進めます
- (4)高齢者大学を「**市民大学**」（仮称）に発展的拡充します！併せて、リスクリング（学び直し）の環境整備、「夜間中学」、「デュアルスクール」の設置検討を図ります
- (5)スポーツのまちづくりを推進します！
- スケートパークなど**新たなスポーツ・レクリエーション施設整備の検討・推進**、「総合体育館」などのクラウドファンディング等を活用した整備検討

2 誰も置き去りにしない**教育のセーフティネット**を 張り巡らせます！笑顔あふれる**温かい子育て環境** **日本一**を目指します！

- 不登校対策、ヤングケアラー対策の推進
- 大学・専門学校など受験料・塾代の支援制度（給付×貸付）の創設検討（一定の収入等の要件）
- 大学生・専門学校生までの医療費支援、全国最大級の定住促進型奨学金返済支援の継続**
- 200円給食のさらなる負担軽減へ段階的検討・推進（（例）財源の目途を得て、まず中学校から無償化など）、オーガニックを含め地元産食材による給食等の拡充
- 総合的な子育て支援施設（雨の日でも可能）**の着実な整備推進
- 子育て応援アプリ（伴奏型サポート。母子手帳の電子的補完）の充実・配信
- 新婚世帯、出産世帯のくらし支援の推進



京丹後市広報資料より



雨天でも遊べる施設イメージ例

防災をとことん進める、生活の安全安心を守り抜く、 生活の現場から豊かな活力をつくる！ —ささえあう、たすけあう、あたえあう—

1 防災、減災を市民と一緒に徹底的に進めます！

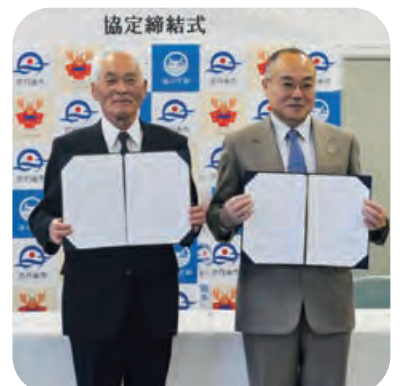
- 防災総合アプリ（要支援者の支援要請機能、各種危険・避難等情報の一覧、マイ・タイムライン作成機能など）の作成、供用
- 男女共同参画で市民と一緒にになった防火・防災の取り組みや操作体験・救命技能（消火器、AED等）の普及・徹底、ネットやAEDなどの防災環境の充実
- 自主防災組織、地区防災計画の市内拡充**をはじめ防災・減災の強化
- 市内の住家等の耐震化の本格的な推進**、井戸等水源の開発検討（名水化も）
- 大切な遺産である「**丹後震災記念館**」の**耐震化・保全のためのクラウドファンディングの実施・保全化**、防災意識の高揚と後世代への歴史伝承



丹後震災記念館。3年後に震災100年を迎えます

2 誰ひとり置き去りにされない、温かくて活力ある共生のまちづくり！ 誰もが生涯現役で生き生き活動「百才活力社会づくり」を充実します！

- フードパントリーを含め、**生活困窮者への支援推進、居場所づくり事業・寄り添い支援事業の更なる充実・展開支援**
- 介護人材等社会福祉人材の確保支援の推進**
- 「地域共生ステーション」のさらなる充実、多文化共生のまちづくりの推進
- 障害のある方が安心して暮らせる、各分野で生き生きと活動できる社会づくり**を全力支援
- 独居高齢者の見守りの推進・徹底（郵便局との連携模索）など高齢者が安心して暮らせるまちづくりの推進
- 犯罪被害者支援の推進と更生への支援、防犯対策の推進
- 「**福祉団体・グループの総合的な拠点**」の整備を検討・実施
- 公共交通空白地の解消**へ推進
- 高齢者がスマホで交通、生活等さまざまな情報が入手可能なアプリの導入（豊能町に例）、高齢者のボランティアにポイント付与（亀岡市に例）で活性化



シルバー人材センターとの連携協力の協定

3 地域コミュニティの維持と多彩な活力づくりを 全力で支援します！

- (1)**新たな地域コミュニティ・モデル事業を全市（36地域）で展開・発展**します！
- 全市各地域での地域版ふるさと納税や協同労働を推進し、地域からの多彩な活力づくりを強力に支援します
- (2)**6町の各区長連絡協議会など地域自治の現場からの要望の実現**を推進します
- (3)**空き家対策、空き家の資源化を本格的に推進**します。「空き家対策課（室）」（仮称）の設置を検討します。**移住対策を抜本拡充**します
- (4)日常生活に欠かせない各種のインフラ整備を全力で進めます！
- 小規模公共事業**の更なる充実推進
- 新・廃棄物最終処分場**など欠かせない生活インフラの着実な整備推進

中山市長は全国大会などの場でも
国・地方の関係者に熱く訴えています！



道全協だより（令和3年12月号）および（令和5年5月号）より抜粋（見出し＋本文とも）→道路整備等の全国大会の様子から→

< 今期 中山市政の4年間のあゆみ >

(以下、4年間の実績の一部で、全てではありません。)

4年前の市長就任後、第2次総合計画基本計画を定め、市民を起点に、**コロナ対策とともに、「か
せぐ」「はぐくむ」「ささえる」「つなぐ」の4つの視点から、積極的な取り組みを展開しています！**

<コロナ対策>—市民の命と健康、生活と生業・事業を全力で守り抜く—

- 着任後、直ちに「コロナ対策支え合い基金」を3億円規模で立ち上げ、Web相談開設、水道基本料金免除、固定資産税の一定免除補助、雇用調整助成金や利子補給・信用保証の上乗せ支援、家賃等支援、内需・販路拡大促進事業、ふるさと旅行キャンペーン、累次の消費支援クーポン券発行、支援策パンフレットなど、3年間で総額110億円以上(うち特別定額給付金約54億円)もの思い切った異例の規模でコロナ対策・各分野関連事業を実施。
- 公民館等公共施設の原則無償化・無料開放を就任後速やかに4年度末まで実施(約2年半)
- 近畿で唯一、全国的にも珍しい「安全・安心な市民生活と観光の推進のための新型コロナウイルス対策条例」を制定、生活と観光の両立をまちのルールに定め推進。

<かせぐ>—ふるさと納税10倍プロジェクトの推進。ふるさと納税は、年間約17億円、約7万件に(令和6年1月現在)。4年前の約6倍、件数は約13倍に！—

- 先進自治体の泉佐野市にご協力賜り職員交流で事業展開のノウハウ充実
- ふるさと納税を通じ地場産品を開発するプロジェクトを行う条例を泉佐野市に次いで全国2番目に制定
- 全国初で金融機関との連携をプロジェクト化。また、地域コミュニティが直接クラウドファンディングできる仕組みを初めて導入
- ピーチ航空と連携し「機内でできるふるさと納税」にチャレンジ



<かせぐ>—多彩な地域産業を徹底的に支援。物価高騰対策から新事業・分野へのチャレンジまで—

- <物価高騰等>
- 物価高騰に対応し、いち早く、全業種、運送業、機械金属業、農業者等への支援制度、消費支援の市民全員クーポン券の発行などを行う
- ゼロゼロ融資の返済・借換えの負担軽減の上乗せの実施

<ものづくり>

- 販路開拓、異業種交流、経営革新、あと継ぎマッチング等支援・推進
- はたらく女性が活躍できる職場環境の整備支援
- 副業人材の活用支援、インターシップ人材確保支援

- オープンファクトリー展開支援
- 食品加工支援センターの整備・設立
- 丹後ちりめん創業300年記念事業、TANGO OPEN CENTAR事業の支援
- 「京丹後市新シルク創造館」を創設。京丹後での周年養蚕・京丹後産シルク生産と織物、健康・医療等分野での展開にチャレンジ。委託事業者は日本の先端的スタートアップ企業に選ばれる



<農林水産業>

- 食のふるさとづくり推進、有力シェフとの連携による食の魅力づくり事業
- 農業新規就農者・後継者人材の確保・育成
- スマート農林水産業実装チャレンジの支援
- 有害鳥獣対策を全力・多角的に支援
- 果樹産地基盤強化事業、和牛振興の支援
- 活イカ流通支援、ウニ養殖、海藻類活用の支援
- 米など農産物のブランド化を進めるための「みどりの農作物認定委員会」を発足
- 森林環境譲与税事業の推進、森林環境の整備



月の輪田での御田植え

<観光・スポーツ>

- 「ANAと包括連携協定」を結び、観光分野を中心に積極的に事業展開
- 年間1億円を超える観光公社への支援を通じて観光振興に全力
- ユネスコ世界ジオパーク、ワールドマスターズゲーム事業の推進
- 海浜施設トイレ整備推進
- はごろも陸上競技場(第3種公認)や久美浜湾カヌーセンターの完成(三崎市政時代に着手・推進)

<地域>

- 「協同労働」の推進。全国でいち早く予算化等推進
- 年間を通じた雇用環境を創出する「特定地域づくり事業協同組合」の設立・運営を支援(職員提案プロジェクトより)

<デジタル化、サービス・商業、産業全般>

- 若者中心のビジネスアイデアコンテストを全国に募集し展開
- 京丹後版「地域商社」創設支援・推進
- 循環型経済の推進等のための「京丹後デジタルポイント」を導入
- 「自然あふれるビジネスセンター」をコンソーシアム委託で設立。ワーケーション・テレワークを推進
- ICT活用の先端的な大学である「情報経営イノベーション専門職大学」と包括提携協定、市政各分野のデジタル化を本格的に推進



<はぐくむ>—まちの将来をになう未来人材の育成—

- GIGAスクール構想・教育のICT化を推進
- 中学生へのプログラミング教育を提携大学と連携して実践
- 「AIによる英語力向上アプリ」を公立学校として日本で初めて全中学学年に導入・推進
- 海外の大学関係者と連携したグローバル人材の育成事業スタート
- 丹後学の充実
- 200円給食の導入、「網野学校給食センター」の整備着手
- 教育支援センター「麦わら」の運営体制の充実
- 病後児保育の実施
- 大学生・専門学校生への医療費支援制度を本格的には我が国先頭グループで導入
- 全国から大学生等が参加、地域と連携して実践する「夢まち創り大学」の推進
- 全国最大級となる「定住促進型奨学金返還支援制度」の創設・推進
- 高校生による「ICT×地方創生甲子園」の開催
- 「海のみえる図書室」(丹後図書室)を整備・設置(三崎前市政時代に着手・推進)
- 「未来チャレンジ交流センター」(ルーツ)の開設、「丹後万博」の開催支援
- 「ふるさと創生職員」の任用の推進、「移住支援センター」の運営・空き家改修の支援等
- 教職員の働き方改革を関連システム導入などで推進

<ささえる>—安全・安心で誰ひとり置き去りにしない—

- <子育て支援>
- 「はは笑みプロジェクト」の実施
- 子育て世帯の医療費負担の支援を大学生・専門学校生まで拡大
- 子育て環境の施設・設備や、子育て世帯の住宅確保の支援

<前期 中山市政時代のエピソード 中山やすしさんの全国的な信頼と ピカイチの行動力>

与党も賛成した「**道路財源カット法案**」に**地域の立場から強い反対**(平成21年)、**自殺予防対策の充実支援**(平成27年)に関し、中山市長が全国の市町村長の中から推薦を受け、国会で意見陳述。**一人の市長が、異なる重要生活分野で2度にわたり国会で公式に陳述を求められるのは、きわめて異例**であり、全国の行政関係者からのあつい信頼のもと、ピカイチの行動力で活躍していました!!



中山京丹後市長
参院国土交通委で意見陳述
(当時)

合併20年後の活力ある未来をひらく —未来のまち・地域の多彩なかたちをつくります—

1 都市拠点、地域拠点等の整備をしっかりと確実に進めます！

- 山陰近畿自動車道**の峰山インターチェンジの速やかな供用(9年度目途)、**網野インター**までの早期事業決定、全線ルートの決定と令和10年代の全線完成を**全力で推進！主要国道、府道の整備加速化**に全力
- 「**都市拠点構想**」及び「**公共施設整備**」(**子育て支援、総合図書館など**)を着実に推進・実現、「**都市再生整備計画**」の検討
- 網野交流センター・交流広場**(仮称)、**宇川アクティブライフハウス**(仮称)などの地域拠点の着実な整備・実現
- 久美浜病院の整備推進**をはじめ病院・医療体制の充実、適切なデジタル活用の推進
- 庁舎増築棟(峰山庁舎)の整備**など行政体制の効果的・効率的な整備



庁舎増築棟イメージ。京丹後市報道資料より

2 地域と地球環境の保全、SDGs、ウェルビーイング、AIなど 時代潮流や、魅力あふれる本市の歴史・文化資源の活用を 取り込んだ施策を進めます！

- 脱炭素・再生可能エネルギー、資源循環、SDGsの推進**(デジタルポイントを活用したボランティア等の活性化、地域新電力会社、下水汚泥のたい肥化、将来のごみ焼却施設での付加価値生産等の可能性検討も)
- シェアサイクル(電動アシスト自転車)の導入検討・推進
- 歴史・文化資源の積極的な活用、**文化・芸術のまちづくり**の本格的な推進、野村克也賞の創設、文化・芸術活動の積極誘致
- ウェルビーイング経営**の推進(企業認証制度の検討等)など**ウェルビーイング、市民総幸福の推進**
- 合併20年記念の市史「20年の歩み」を編纂。未来世代にしっかりと継承
- 「世界連邦宣言自治体全国協議会」への加入の検討・推進

健全な行政基盤の維持と 一層の充実発展を図ります！

1 財政基盤のさらなる強化・充実を図ります！

- 「**京丹後市財政強靱化戦略**」(仮称)の策定と推進
- 過疎債**など国府等からの財源確保・充実、**国府等との連携事業**の拡充
- 「**地方から国の財政の在り方を考える首長の会**」の活動を推進。**国の財政規律のアップデートと地方への積極歳出・投資**に向けた要請の強化



「地方から国の財政の在り方を考える首長の会」の発足式で(令和5年6月)

2 職員の働き方改革、生き活きと働きがいのある職場づくりを進めます！

- 庁舎内リクルートナビ・人事ドラフト(仮称)など**士気が促される制度**づくり
- ふるさと創生職員、地域おこし協力隊、副業人材など多彩な職種の発展的な検討と推進
- 思い切った休暇制度・一定の場合の副業許可(公益性と両立条件)など**活き活きとした職場環境のための制度改革**の検討と条例化

(以上、掲げた政策見解は、業務体制と適切な業務配分に十分留意しながら、また、今後とも多くの市民の皆さまのお声をお聞きしながら、優先順位をつけて順次、積極的に検討・推進すべきものです)

「いのち輝き和がひろがるふるさとの会」は、上記の見解を発表しました。